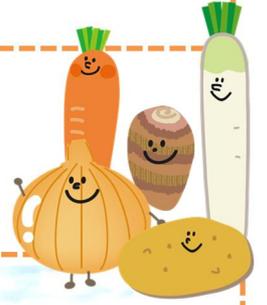


# 農場体験見学会を開催しました

とうきょう元気農場では都心部の学校給食に出荷する野菜を育てているほかに、農場体験見学会を開催しています。令和5年は10月から11月にかけて4回の体験見学会を実施しました。



10月14日は東京都内の学校栄養教職員等の皆様、10月21日は都内の食育に関わる大学生を対象にサツマイモの収穫体験や農場見学を行いました。参加者は元気農場で農作業を担う生産組合の会員に、今年の作物の様子や収穫の時期などを積極的に質問していました。

10月21日実施体験見学会の様子→

↓11月20日実施体験見学会の様子



11月25日実施体験見学会の様子↑  
収穫前に大蔵大根の種子を観察しました。

見学会終了後、参加者からは「農業は天候に左右されることが良く分かった」「今回体験したことを子供に伝えたい」などの声が聞かれました。

11月20日は都内小学校児童、11月25日は親子での参加者を対象にサツマイモと大根の収穫体験や農場見学を行いました。

全4回の体験見学会は天候に恵まれ、延べ115名の皆様にご参加いただきました。

とうきょう元気農場では冬にサトイモを給食用に出荷する予定でしたが、夏の記録的な少雨・高温によってイモが少なく小さかったため、出荷を断念しました。収穫されたサトイモは、給食出荷は叶いませんでしたが、地産地消のために地元のスーパーなどで販売されます。

このように屋外で生産される作物(露地栽培作物)は天候の影響を受けやすく、計画通りの栽培・出荷が難しいことがあります。



令和5年のサトイモの様子↑  
(赤丸は100円玉)



※本記事の内容は、食育の推進に関わる活動においてご自由にご使用ください。

東京都農業振興事務所 都市農業担当